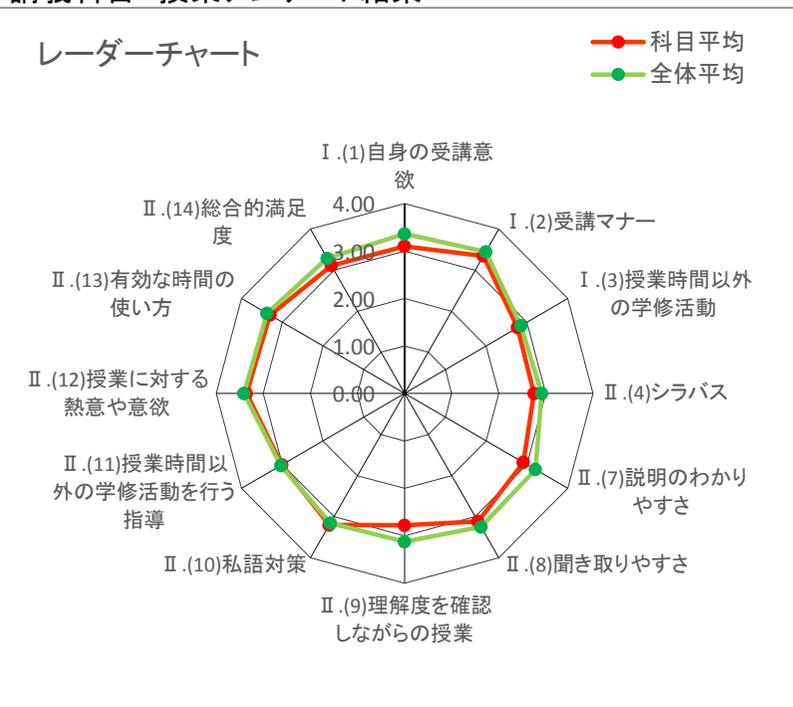
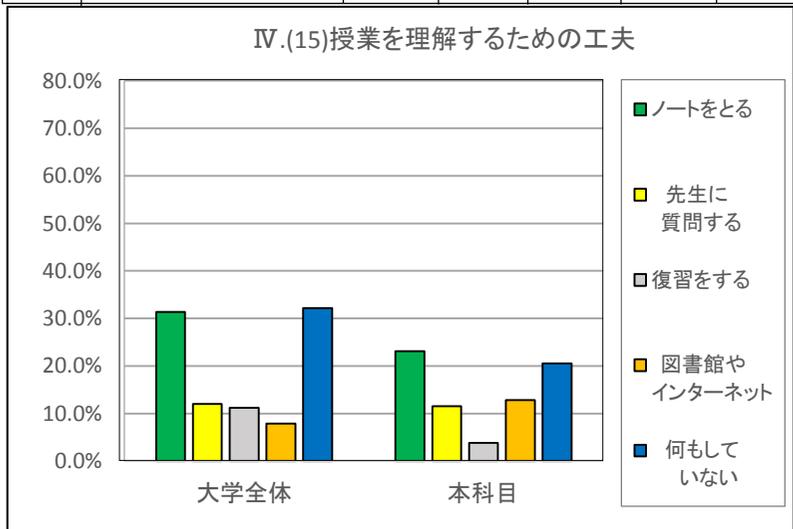


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	23.1%	11.5%	3.8%	12.8%	20.5%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	31105
科目名	教育行政学A(初等)
教員名	

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.10	3.36
	I.(2)	3.35	3.45
	I.(3)	2.77	2.86
受講内容・方法	II.(4)	2.75	2.91
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	2.91	3.21
	II.(8)	3.12	3.25
	II.(9)	2.78	3.13
	II.(10)	3.21	3.16
	II.(11)	3.01	3.04
	II.(12)	3.36	3.41
	II.(13)	3.30	3.37
満足度	II.(14)	3.11	3.29

①授業計画の達成度について  
 シラバスの内容に基づき、授業の目的を受講者に意識させ、概ね所期の目的を達成した。期末レポートにおいても、このことは確認できた。  
 本科目は、これまで系統的に学んだことのない内容であったためか、学生にとって、用語等をはじめとして、授業当初はなじみにくさがあったようだが、徐々に慣れてきたように思われ、授業中に、内容等についてインターネットで進んで確認する学生も出てきた。ただ、予習・復習をはじめとした主体的に学習する態度に課題がある学生も若干見られた。それは、毎時間提出させていた、授業の見通し、振り返りシートからも確認できた。これらの学生の学習意欲の喚起が課題である。

②授業の進め方について  
 授業は、講義と学生の発表を組み合わせで展開した。それは、教育行政に関する、基礎的な内容の理解と、それを基に思考し、判断し、表現することを進めるためであった。  
 若干ではあるが、受け身な態度で授業に臨んでいる学生も見られたので、機会を見て、授業の進め方や、授業の趣旨について確認した。これらの学生の意識を改善することが課題である、  
 なお、学生の発表は、問題解決の意識をもった、主体的なものが多かった。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.07	3.22
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.06	3.18
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.11	3.29
III.(14)		

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について  
 学力の3つの重要な要素である、基礎的・基本的な知識・技能の習得、それを基にした、課題解決に必要とされる思考力・判断力・表現力等の育成、主体的な学習態度の涵養を目指して授業を展開し、概ね所期の目的を達成したと考えているが、一部に課題を残した。  
 今後、全ての学生に、21世紀に生きる社会人として必要な確かな学力を育成していくことができるよう、より、個に応じた指導を、授業中や、授業の見通し、振り返りシートを通して工夫していきたい。